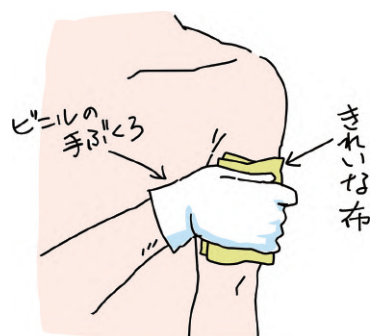


4 けがの手当てについて知ろう

さいがい
災害にあったときの応急手当の方法について
考えよう。

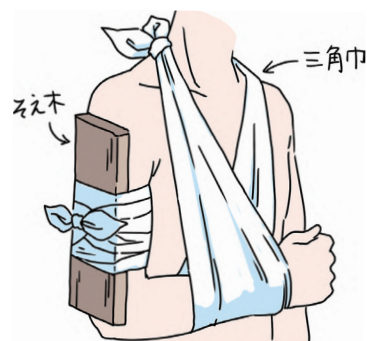
○出血している場合の手当て

せいけつ
清潔な布を出血している部位に当て、
手で圧ばくして止血します。かんせん
感染を防止
するため、ビニルの手袋をはめて、直接
血液にふれないようにします。



○骨折している場合の手当て

骨折のおそれがあるときには、その部
位が動かないように固定します。固定す
るときには、そえ木をあてて三角巾など
で動かないようにします。



○やけどをしている場合の手当て

なるべく早く、水道水などで冷やし
ます。服を着ている場合は、無理に服を
脱がさずに、服の上から水をかけて冷や
します。



○人がたおれているとき

- ・意識^{かくにん}を確認します。
- ・呼吸^{こきゅう}があるかどうか確認^{かくにん}します。
- ・呼吸^{こきゅう}がないときは、心臓^{しんぞう}マッサージを行います。



エーイーディー
○ A E D (自動体外式除細動器^{じよさいどうき})

- ・エーイーディー^{エーイーディー}を傷病者^{しょうびょうしゃ}の横に置き、ふたをあけて電源を入れます。
- ・電極パット^{しやうびやうしゃ}を傷病者^{しょうびょうしゃ}の肌^{はだ}にはります。
- ・メッセージ^{したが}に従って操作^{そうさ}します。



学習の振り返り

○応急手当の方法について分かったことを書きましょう。

Handwriting practice area with 10 horizontal dashed lines for writing.